

グローバル補助金奨学金・申請者から依頼があったから、申請終了に至るまでの経緯一例

	クラブの動き	候補者の動き	RI・地区の動き(備考)
2017/8/19		候補者本人から事務局へメールで、グローバル補助金奨学金を申請したい旨、連絡が入る。	
2017/8/22	2017年度、地区財団部門資金推進小委員会委員長・幹事・財団委員長にて、これからの対応を打ち合わせ。		
2017/8/27	2017～2018年度、幹事・財団委員長にて第1回目の面接。		ハーバード大学の公衆衛生大学院への留学希望。 目的は、重点課題の「疾病の予防と治療」。であることを報告。
2017/8月～ 2018/2月		勉学に勤しみ、ハーバード公衆衛生大学院へ合格。	
2018/2/25		ハーバード大学院に合格した旨の連絡が事務局にメールで入る。	
2017/3/1	市内の喫茶店で、本人と打ち合わせ。(財団委員長)		財団研修セミナーのテキストに基いて、グローバル補助金奨学金を申請するに当たり、必要事項を伝える。 <a href="#">※注1</a>
	<a href="#">※注1 この時点でご本人に伝えたこと</a>		
	① グローバル補助金奨学金候補者のための申請書テンプレートに基づく申請書 ・予算については、根拠となる書類を添付すること。(学校からの Financial Summary など)		
	② 写真付の履歴書		
	③ 大学の卒業証明書		
	④ 居住地・勤務地もしくは3親等以内の親族が、岐阜・三重にあるという証明書。		
	⑤ 大学の入学許可証(条件付の入学許可は不可)		
	⑥ 大学教授もしくは、勤務先の上司の推薦状(英文及び和文) ・大学もしくは勤務先のレターヘッドを使用のこと。		
	・必ず、推薦者の肩書、勤務先住所、電話番号、メールアドレス等も記入されていること。		
	⑦ クラブ面接・地区面接合格後、オンラインにて申請をしてもらうこと。		

018/03/01～ 2018/03/15	<p><u>代表連絡担当者 1 名と第二連絡担当者 2 名を決定し、マイロータリーへ登録を済ませる。</u></p> <p>また、<u>英訳・和訳ともに精通している方を選定。</u></p> <p><u>(今回は、申請者本人に当方の文書等の英訳をすべて依頼しました。)</u></p>	<p>申請者としてマイロータリーへアカウントを登録。自らの申請画面をチェックし、申請内容の草稿にかかる。</p> <p>※申請内容に対しては、Web 上にある「グローバル補助金奨学者のための申請書テンプレートにて確認。</p>	<p><b>※注意 2</b></p> <p>・オンライン申請は、代表連絡者が見ている画面と、申請者が見ている画面は違います。双方の内容の整合性をもって進めることが肝要となります。</p>
2018/3/15	書類の提出を受け、松阪クラブでの面接の日程の検討に入る。	<p><b>※注 1</b></p> <p>①～⑥の種類一式をクラブに提出。</p>	
2018/3/19	<p>松阪クラブでの検討結果、<u>3月26日(月)14:30より面接を行うことを決定。</u></p> <p>即日、上記日程でのクラブ面接の件を申請者に連絡し、日程の調整・決定を図る。</p>	3月26日(月)14:30からクラブ事務局での面接を了承。	
2018/3/19 ～3/21		<p>当初、秋学期からの留学を予定していたが、オプションで夏学期からの予定に変更したい旨、急遽、決定する。<u>よって、8月中旬渡米の予定が、6月22日から渡米を決定。クラブ代表連絡者に連絡が入る。</u></p>	
2018/3/22	<p>渡米の予定を8月中旬から6月22日出発に決定したい旨、連絡が入る。連絡を受け、すぐに地区事務局一財団部門へ相談。</p> <p><u>→とにかく実行との回答を得る。(申請を大至急進めることを確認)</u></p>		<p>申請許容期間猶予がなくなるため、このプロジェクト自体の申請が可能かどうか、確認。</p>
2018/3/26	<p><u>松阪クラブでの面接を実施。</u></p> <p>・メンバーは、今年度・次年度会長・幹事・財団委員長・財団副委員長・地区財団部門資金推進小委員長・計、8名。(少し大所帯ですが、年度をまたぐ事業となるためです。)</p> <p>時間は約30分間。</p> <p>次のステップ、<u>2630地区での面接が、4月14日(日)であることを申請者に通知する。</u></p>	地区での面接の件を了承。	<p>面接確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロータリークラブについて知っていること・自己紹介と奨学金申請の動機</li> <li>・疾病の予防と治療の具体的な根拠</li> <li>・奨学金を受けた後の将来像についての具体的な方向性など</li> </ul> <p>地区での質問を想定した内容を予め想定しておきます。</p>

2018/3/27	<u>松阪クラブでの面接の結果、クラブで地区への推薦を決定。</u>		松阪クラブからの推薦を受け、地区での面接の日程を検討いただく。また、実施国側のロータリークラブの選定を行っていただく。(事前に地区での面接日程の内示をいただいております、4月14日(日)、地区協議会前、午前11時より開催)
2018/4/2	一連の提出された書類と松阪クラブからの推薦状を添えて、2630地区への書類を送付。		
2018/4/10		2630地区から、グローバル奨学金面接の日程・時間の通知書が届く。 指定日で都合を付け、出席の意思表示をFAXにて送信する。	
2018/4/14	申請者を面接会場まで連れていく。 (これは、任意です。ここまでしなくても良いかも知れません。)	面接の20分前に会場に到着。面接を受ける。	国際ロータリークラブ、2630地区ロータリー財団グローバル補助金奨学生選考通知に基づき、面接を実施。地区協議会前、午前11時より開始。数点、書類の書き方等に対し、修正をいただく。時間は約30分。
2018/4/18	松阪クラブからの奨学金の申請金額を、63,000ドルに変更することを決定し、オンライン申請の準備に取りかかる。	地区での面接で指摘された点を修正にかかり、自分のマイロータリーのアカウントから、申請内容の修正にかかる。	
2018/4/25	オンライン申請において、申請者の申請内容の修正文書を受け取る。	地区面接にて、指摘をされた申請内容についての修正を完了する。	
2018/4/27	申請者より受け取った修正内容を修正した申請書を受け取り、再度、地区へ申請書類を送付する。		4/28~5/2にかけて、グローバル補助金の申請書を審査していただく。
2018/5/2	2630地区より、グローバル補助金奨学金のRIへの推薦決定通知(地区での合格通知)をいただく。申請者へ合格の連絡を通知。	地区からの合格(RIへの推薦)を受けた旨、通知を受ける。	

2018/5/8	グローバル補助金のオンライン奨学金の申請をクラブ事務局にて代表連絡者とともに行う。(個別入力可。必ずしもクラブで行う必要はありません。)		
2018/05/02～ 05/31	グローバル補助金奨学金のオンライン申請の入力完了に尽力する。 5/17、地区より実施国側(受け入れ先クラブ)決定のメールをいただく。同時に先方の代表連絡者・第二担当連絡者2名の決定・メールアドレスの連絡を受け取る。		<a href="#">5/17、2630地区事務局より実施国側(受け入れ先)のクラブが決定し、松阪クラブへ通知のメールをいただく。</a>
2018/5/23	実施国側クラブの代表連絡者、第二担当連絡者の連絡先アドレスを申請者に通知する。また、決定に尽力いただいた地区事務局へ御礼申し上げる。	実施国側の代表連絡者・第二担当連絡者に対し、御礼のメールを英語にて配信する。	
2018/6/3	申請者が出国の6月22日までにオンライン申請の全申請を完了すべく、尽力する。また、申請者がまだ候補者ながら、合格した場合を想定し、松阪クラブ例会での自己紹介を兼ねた挨拶をしてもらうべく、日程調整を行う。→6月13日に決定。	松阪クラブ例会での自己紹介を兼ねた挨拶訪問を6月13日例会時に行うことを了承。	
2018/6/13	6月13日定例会時の委員会報告にて、グローバル補助金奨学金候補者として自己紹介・クラブへの御礼を兼ねて挨拶をプログラムに反映する。	松阪クラブ定例会にて、今回のグローバル補助金候補者として、自己紹介を兼ねた挨拶をする。 (5分程度)	
2018/6/14	グローバル補助金奨学金のオンライン申請の全工程を終了。合否の判定待ちとなる。(最終のステップ12の承認・法的合意に一番時間を費やしました。地区事務局のご尽力により、最後のステップ12の承認まで漸く漕ぎつけました。	オプションを受講するに当たり、その条件をすべて満たしたことの証明を2630地区担当のサンドストローム様に送付。承認を受ける。	国際ロータリー財団、2630地区担当のサンドストローム様より、申請者に対し、オプション留学の条件をすべて満たした証左を送付する様、本人に指示がある。

2018/6/22		申請者、渡米。	
2018/6/26	グローバル補助金の専用口座の開設 ※他の口座と併用は不可。専用の口座であること。		
2018/7/3	<p>国際ロータリー財団・2630地区担当のステイーブン・サンドストローム様より、 今回のグローバル補助金奨学金申請に対し、申請額満額の63,000ドルにて合格した旨の連絡が入る。以下の依頼がある。</p> <p>①グローバル補助金の銀行口座に関する情報(クラブ振込口座)の提出 ②グローバル補助金銀行口座の署名人となるロータリアン2名の指定 ③すべての現金拠出金を確認</p>		
2018/07/04～ 07/10	財団より指定をされた①・②の情報をオンラインにて入力。 ③財団経由でのクラブ拠出金、2,100ドル(クラブ拠出金+手数料5%)の入金。		
2018/7/25	ロータリー財団より今回申請したグローバル補助金奨学金の振込済の通知が届く。(クラブで確認が取れるまで数日のブランクがあります。)	事前にグローバル補助金奨学金の振込口座の開設。	
2018/7/30	クラブグローバル補助金専用口座への振込があったことを確認。 即刻、申請者の口座へ振込。 (手数料クラブ持ち・日本円)	グローバル補助金奨学金の振込指定口座を作成完了。松阪クラブへ連絡。	
2018/7/31	先方指定口座への振込が先方の手続きミスでNGとなる。 申請者へその旨、緊急に連絡し、他の振込口座を指定いただく様要請。	振込先 NG の連絡を受け、急遽、他の振込先を連絡する。	
2018/8/1	申請者の振込口座へ日本円で入金。 振込があった、来年の7月25日の前日までに報告書を作成し、オンラインで報告する様、申請者に連絡する。	振込完了の連絡を代表連絡者に送る。	